

登録コード	HS991000	開講年度	2026					
授業題目	学外研修				担当教員			
英文授業名	Training Outside the University				副担当			
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	総合理工学専攻の学生（2026年度入学の学生）
				授業形態	実習	備考	※指導教員と相談してください。	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	(授業の達成目標)		
	2026HSカ							
	【専攻】理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				⇔	専門分野だけでなく近傍の課題に対しても新たに取り組むことができるようになる。		
(2)詳細 /Detailed information	自らの研究課題（博士学位論文）に関する分野において実務訓練等を受けることにより、産業界・地域社会において、専門能力を活かせることができるための応用力や洞察力・俯瞰力を醸成する。自らの研究課題が実際の社会で如何に役立てられる可能性があるかを再認識するばかりでなく、科学技術と社会の関係、社会において自身に期待される役割や社会における自己展開のあり方について考えを深められるようにすることを目指す。さらに、現場において指導を受けることにより、コミュニケーション力（自らの考え方を的確に相手に伝え、逆に相手の考え方を正しく理解する力）とリスペクト力（自身の考えと異なる考えを持つ相手であっても尊重できる人間性）を養う。							
(3)授業の概要 /Overview of course	「主指導教員」と「総合理工学専攻長又は総合理工学専攻副専攻長」が認めた場合に、官公庁・企業等の研究機関において、研究課題（博士学位論文）に関する実験指導、計画、設計等を受けるものを学外研修とする。60～90時間相当（2単位）の実務訓練を受け、博士学位論文の作成へつなげる。							
(4)授業計画 /Course plan	1. 「学外研修計画書」を参照し、研修先候補、研修計画を指導教員と相談して決める。 2. 指導教員を通じて研修先と下記の点について調整する。 ・研修計画 ・依頼文書・機密保持手続等の要否 ・学生の宿泊施設の要否 など 3. 調整結果に基づき、学外研修計画書を作成し、研修先指導者と主指導教員の承認を得てキャンパス担当係へ提出する。外国の大学院等に留学する場合は「留学願」を学外研修計画書とともに提出する。 【上記について、原則として研修の2ヶ月前までに完了すること】 4. 研修終了後、研修先指導者の承認を得て「学外研修報告書」を主指導教員に提出する。							
(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation on method	主指導教員が学外研修報告書に基づき成績評価を行う。							
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation on criteria	自己の専門能力を社会において活かすために必要な能力について、研修先指導者から期待以上の高い評価を得られるレベルにあれば「秀：100-90点」、期待通りの高い評価を得られるレベルにあれば「優：89-80点」、期待には満たないが十分なレベルにあれば「良：79-70点」、最低限の達成目標を満たせば「可：69-60点」、不十分であれば「不可：59点以下」とする。							
(7)事前事後学習の内容/Prep and review work	研修先の規則等を理解し、遵守すること。 ※この授業は事前事後学習の時間外学習を含めて90時間の学習を必要とする内容です。							
(8)履修上の注意 /Notes	・ 社会人が研修先として所属部署を対象とする場合は、勤務と本科目履修との棲み分けを明確にし、計画書に記載すること。 ・ 原則として、研修開始前までに「学生教育研究災害傷害保険」「学研災付帯賠償責任保険」等に加入しておくこと。							
(9)質問、相談への 対応/Questions and requests for advice	主指導教員または研修先指導者と随時連携を取ってください。							
(10)授業の形式 /Course format	研修形態にもよりますが、討論を含む双方向形式で実施します。							
【添付ファイル 】	内容はWEB上から確認してください。							
【教科書 /Textbook(s)】	特になし							
【参考書 /Reference work(s)】	特になし							